

# 庄内事業構想プロジェクト研究（第2期） 募集要項

本プロジェクト研究は、庄内エリアにおける地域課題解決に資する事業の構築と人材育成の推進を目的とする。

2024年6月開講

2024年3月28日更新ver.



学校法人 先端教育機構

事業構想大学院大学 事業構想研究所

# 庄内事業構想プロジェクト研究



持続可能な経営のためには、新事業の創出やビジネスモデルの変革が不可欠となっています。気候変動やデジタル技術の革新など社会が大きく変容するなか、社会を見据え、多様化する顧客ニーズに合わせた新たな価値創造が求められます。

本研究会の舞台となる庄内地域は、日本海に注ぐ最上川、東の出羽山地を源とする赤川、北の鳥海山を源とする日向川、月光川等、多くの河川が流れる山と海に囲まれた広大で肥沃な平野を持つ、日本有数の穀倉地帯です。四季折々の山の幸、海の幸に恵まれた自然豊かな地域で、独自の食文化も形成しています。

また、古来より、鳥海山、出羽三山は山岳信仰の聖地としてにぎわい、開湯1,000年を超える湯野浜温泉、あつみ温泉、湯田川温泉を有している地域でもあります。

江戸時代には、最上川舟運の発達により内陸の物資が酒田から上方、江戸へと至る「西廻り航路」で運ばれ、庄内・酒田は経済や文化交流の拠点として栄えました。

このような庄内地域で行う「庄内事業構想プロジェクト研究」は、次のような研究会です。

- ・庄内エリアの地域課題解決及び人材育成の推進に資する、新規事業を構想する場です。
- ・事業の根本からアイデアを発想し、理想となる事業構想を構築します。
- ・異業種の企業やパートナーとの知の共有・探索や、コラボレーションによる事業創出活動を実現します。
- ・10か月間（2024年6月～2025年3月）の研究会を通じて気づける素養を磨き、価値創造を担う人材を育成します。
- ・研究会のテーマは特に決めておりませんが、少子高齢化や交通・観光（港や道路等）、エネルギーやグローバル等に関する内容は扱っていく予定としております。

なお、本研究会は、住友商事株式会社との共催により実施いたします。

# 庄内事業構想プロジェクト研究の概要と特徴

## 庄内事業構想プロジェクト研究の全体概要

### 新事業の開発を行う10か月間の研究会

本研究会は、事業構想大学院の事業構想修士課程のカリキュラムのエッセンスを活かし、テーマに基づき、研究参加者の新たな事業構想と構想計画構築を行う10か月間の研究会です。

### 1人の担当教授と10人の研究員

研究会は、原則10人の研究員で構成されます。1人の担当教授が本研究期間を通してコーディネートとファシリテーションを行いながら、研究員の知見を高めながら推進していきます。

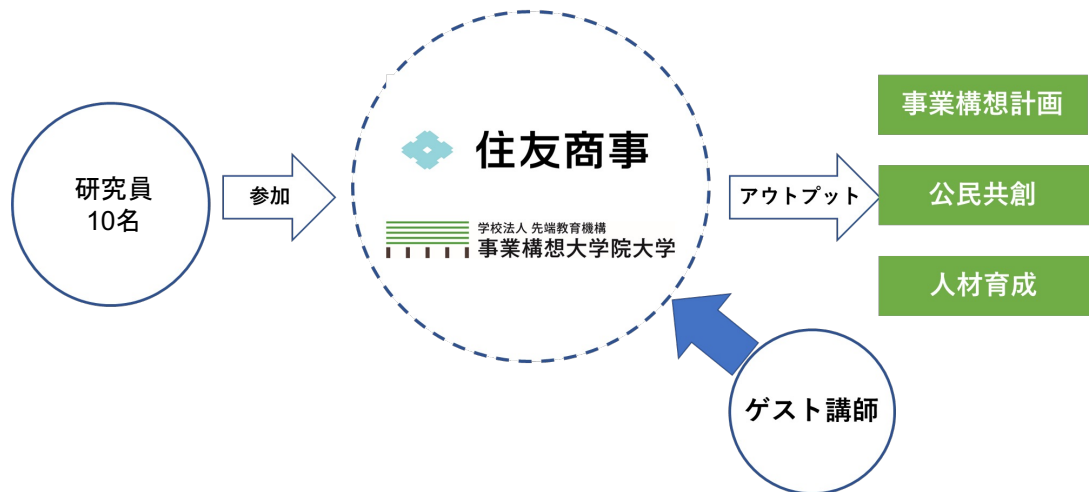
### 11か月間で20回開催

定例の研究会は、10か月間で20回開催。多彩なゲスト講師を招き、研究員の視野を広め視点を磨きながら、研究員各自の新事業構想を構築していきます。

### 「研究員」という資格を付与

研究員は非常勤（雇用関係なし）で、日常の仕事に就きながら、研究会に参加します。大学院附属研究所の研究員の資格が付与され、大学院の知やネットワーク、施設を活用できます。

## 庄内エリアをフィールドとした「地域課題の新規事業構想」



本プロジェクトのカリキュラムとして、事業構想計画をアウトプットとした、発・着・想、構想案、シミュレーション、リサーチ、計画、投資側とのコミットメントなどをプロセスとして研究しながら、研究員（参画する企業）の計画する新事業の実現性をともに画策していきます。研究員である皆様と、事業構想ノウハウを持った教授陣・研究の第一人者をゲスト講師として招聘し、三位一体となってプロジェクトを1年間執り行います。



# 庄内事業構想プロジェクト研究の概要と特徴

## 庄内事業構想プロジェクト研究 4つの特徴

### 1：イノベーションを体系化した唯一のプログラム

新事業の開発を目的とした日本で唯一の大学、事業構想大学院大学の教授陣が、イノベーションに関する豊富な知識や方法を提供し、事業評価や計画を精緻に策定します。

### 2：経営資源を活かし、実践的な事業を構想

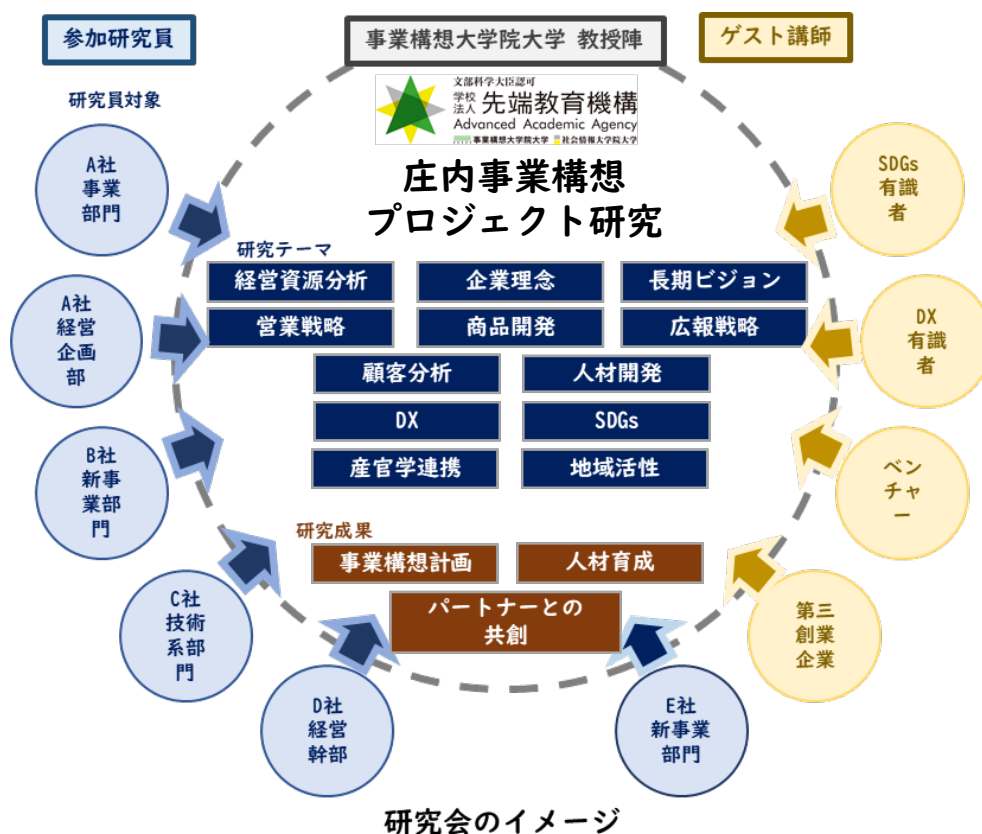
顧客開発など構想計画も、経営資源を活用した実現性が高く独自性の強いものを構築します。

### 3：最先端分野の有識者、第一人者とのネットワーク

本学がネットワークを有する、地域活性の分野における第一人者から、ゲスト講師を招聘し、イノベーション支援を行います。

### 4：異業種との共創

研究会は異業種の研究員で構成されます。自社の業界領域を超えた、新たな価値創造を加速します。



## 研究員の対象となる方

- ・ 人脈や技術など、経営資源を再定義し新事業を策定したい方
- ・ 社会を洞察しながら、時代に即した新しい事業を立ち上げたい方
- ・ 参加者やゲスト講師、自社のステークホルダー等と、共創事業を立ち上げたい方
- ・ 顧客の深いニーズ、課題を把握して、新たな事業やビジネスモデルを構想したい方
- ・ 今後、社内の中核となっていく幹部候補の方
- ・ 庄内地域をよりよくしたいという熱い想いを持っている方

# 庄内事業構想プロジェクト研究の概要と特徴

## 最先端分野での幅広いネットワーク

事業構想大学院大学は出版部門を有しており、SDGsやDXなどの分野における最新事例・第一人者（官公庁・有識者・実践者）とのネットワークを構築しています。本プロジェクト研究において、各分野の本質を理解しながら、新たな事業の開発につなげることを目指します。



## プロジェクト研究員の特徴

1. 担当教員や本学教員への個別相談
2. 事業構想大学院大学主催「事業構想スピーチ」への参加（年間約40回以上開催）
3. 図書館、サロンの利用
4. 電子書籍、オンラインデータベースの利活用
5. アーカイブ視聴
6. メディア利活用
7. 名刺、研究員証貸与

※このほか、本学が主催するセミナー・フォーラム・企画展などのイベントに参加できます。

## サポート体制

### ●多彩な人的ネットワークの構築支援

専門家や自治体、官僚などをゲスト講師としてプロジェクト研究に招聘し、イノベーションに必要なインプットを行います。また、年間約40回、事業構想大学院大学院生を対象に行っている、多様な分野のスペシャリストをお招きして実施する事業構想スピーチへもご招待いたします。

さらに、事業構想大学院大学の教授陣による個別フィードバックや、研究員同士が議論を重ねる中で、外部の専門的な視点を取り入れながら、各社/各自の事業構想計画をブラッシュアップすることができます。

### ●フィールド・リサーチができる「研究員」としての資格を付与

社会課題をイノベーションを通じて解決する「研究員」としての資格を付与します。社会的に中立な研究員という立場として、ヒアリングやフィールドリサーチを行い、ネットワークを構築することができます。

### ●メディア・プロモーション支援

優れた成果は月刊事業構想をはじめメディア掲載し、プロモーションを支援します。

# プロジェクト研究のアウトプット

## 事業構想計画書

プロジェクト研究や大学院カリキュラムを活かした構成で、定例研究会を中心に個別指導を受けながら、各研究員が事業構想計画を策定します。

### 事業構想計画書の構成例

- 企業や事業の理想の姿
- 商品・サービスの定義
- 顧客の定義と顧客適合性(セグメントとユーザー観察)
- 競合の定義と競争優位性(ポジショニング)
- 自社の実行可能性と投資規模
- 価格と論理と根拠
- 取引先・協働先(ショートリストとヒアリング結果)
- 顧客の獲得補法(マーケティングプランや営業方法)
- PL/BS(初年度～5年度、10年目)
- 事業化へ向けた課題と解決案(仮説で可)

研究員ごとに必ず1つ以上の事業構想計画を策定します。  
構想計画には上記の項目が入っていることを推奨します。

# 募集概要

## プロジェクト期間

全20回、実施期間：2024年6月～2025年3月

## 定員

10名

※定員を超えるお申込みがあった場合には、選考とさせていただきます。

※選考の結果は、参加可否問わず、5月初旬にご連絡いたします。

※選考後の参加辞退はご遠慮くださいますよう、お願い申し上げます。

## 会場

酒田市内会場、事業構想大学院大学仙台校、オンライン

※原則として、対面参加できる方を選考いたします。

## 対象

自社の経営資源や自身の技術を活用して、

庄内エリアの地域課題解決及び人材育成の推進に資する新事業の開発を目指す方

## プロジェクト構成員

教授、客員教授、プロジェクト研究員、ゲスト講師

## 申し込み期限

締め切り：第一期 2024年4月22日（月） 申込書類必着

第二期 2024年5月17日（金） 申込書類必着

## 申し込み書類

研究申込書、個人調書、研究志望書※

※形式自由。A4版1枚程度で、本研究会で取り組みたい内容を記載してください。

例：目的、背景、取り組みたいテーマ、想定する成果等

※研究申込書については、個人調書、研究志望書のご提出後、別途送付をさせていただきます。

## 申し込み方法

申し込み書類一式を本学仙台校宛に郵送、もしくは担当にデータ送付

郵送先：〒983-8477

宮城県仙台市宮城野区榴岡1-1-1 JR仙台イーストゲートビル7階

送付先アドレス：sendai@mpd.ac.jp

## 研究参加費

無料

## 共催

住友商事株式会社

学校法人先端教育機構 事業構想大学院大学 事業構想研究所

# 担当教員



## 河村 昌美

(かわむらまさみ)

事業構想大学院大学 事業構想研究所 教授

大学卒業後に横浜市役所入庁。福祉、広報、教育部門を経て、2004年にアントレプレナーシップ事業（庁内起業家制度、当時）により、日本初の「広告・ネーミングライツ事業（民間による行政資産の有効活用推進事業）」に関する新規事業部門を設立及び推進。現在全国の地方自治体で広く取組まれている同事業のスタンダードとなるビジネスモデルを構築。その後、2008年に新設された共創推進事業本部（現:政策局共創推進室）の設立メンバーとして、設立当初から2021年3月まで所属。社会・地域課題解決に資する公民共創（産官学連携）を専門として、数百件の様々な分野にわたる企業と行政のマッチング、コーディネート、コンサルティング、連携案件形成に携わる。

2019年からは、事業構想大学院大学事業構想研究所客員教授として、全国の自治体や企業を対象に公民共創や地域活性化・地方創生、SDGsなどに関する新規事業構想プロジェクト研究を担当。2021年4月から現職。

その他、全国での国・地方自治体や大学、学会、セミナーなどにおいて公民共創に関するアドバイザー、講師を多数担当。法務博士（専門職）。

### 執筆記事

産官学共創のキーファクター「SDGsから考える地域活性 横浜市の共創によるオープンイノベーション」（月刊事業構想2019年5月号）

横浜市の共創事業「対話」でオープンイノベーションを加速（月刊事業構想2019年6月号）

共創によるイノベーション 横浜市の方法論とビジョンとは（月刊事業構想2019年7月号）

農業と地域交通をテーマに設定 小諸市におけるプロジェクト研究（月刊事業構想2022年2月号）

### 主な著書・共著

横浜市広告事業推進担当（共著）『財源は自ら稼ぐ!—横浜市広告事業のチャレンジ』（ぎょうせい、2006年）

河村昌美・中川悦宏『公民共創の教科書』（事業構想大学院大学出版部、2020年）



# 庄内事業構想プロジェクト研究カリキュラム

本カリキュラムは、3月16日（土）時点の内容となっております。今後変更となる場合もありますので、あらかじめご了承ください。

| SEQ | 開催日        | 曜日 | 開始時間  | 終了時間  | 所要時間 | 分類                                      | テーマ  | 内容   | 開催場所             | 担当教員・ゲスト               |
|-----|------------|----|-------|-------|------|---|--|--|------------------|------------------------|
| 1   | 2024/6/6   | 木  | 13:00 | 17:00 | 4:00 | 【第1クール】<br>事業構想の基礎<br>発・着・想<br>事業アイデア創出 | ▷オリエンテーション<br>▷酒田市の課題（市職員講義）<br>▷各研究員の問題意識の共有<br>▷事業構想概論                       | ▷酒田市や内各地域の抱える課題を知り、地域の人々に共感を持つ<br>▷各自の抱えたい事業のテーマや問題意識を共有<br>▷事業構想の実践的な流れ・理論・フレームワーク等を理解する                                      | 酒田市産業振興まちづくりセンター | 河村教授                   |
| 2   | 2024/6/7   | 金  | 13:00 | 17:00 | 4:00 |   | ▷地域課題解決事業における課題・顧客<br>▷自己の事業の初期仮説「WILL」<br>▷フィールドリサーチの知識と方法                    | ▷社会・地域の課題と事業顧客の捉え方を学ぶ<br>▷自己の抱えたい事業の初期仮説・WILL（事業意思）を整理する<br>▷フィールドリサーチを行う前に、基礎的な知識・方法を理解する                                     | 酒田市産業振興まちづくりセンター | 河村教授<br>（オンライン）        |
| 3   | 2024/6/28  | 金  | 13:00 | 17:00 | 4:00 |   | ▷フィールド・リサーチ  | ▷酒田市内をフィールドリサーチし、地域を肌で感じ、地域の課題や課題を見つけ出す。   | 酒田市産業振興まちづくりセンター | 河村教授                   |
| 4   | 2024/7/10  | 水  | 13:00 | 17:00 | 4:00 |   | ▷クリエイティブ発想法①   | ▷クリエイティブなアイデア発想のための知識を得る<br>▷クリエイティブなアイデア発想の実践方法を会得する<br>▷自己の事業構想のアイデアをできるだけ多く考える、広げる  | 酒田市産業振興まちづくりセンター | 原尻客員教授                 |
| 5   | 2024/7/24  | 水  | 13:00 | 17:00 | 4:00 |   | ▷クリエイティブ発想法②   |  | 酒田市産業振興まちづくりセンター | 原尻客員教授                 |
| 6   | 2024/8/16  | 金  | 13:00 | 17:00 | 4:00 | 【第2クール】<br>事業構想案<br>策定・中間発表             | ▷事業アイデア（事業の仮説）を発表<br>▷地域・自社（自己）資源＆強み・弱み<br>▷顧客理論（JTBDなど）<br>▷バリュープロポジションの知識と演習 | ▷9セルで整理した仮説を発表し共有、意見交換でブラッシュアップ<br>▷各種資源や強み、弱みの発見と見える化<br>▷顧客理論（JTBD）に関する知識について理解、探索方法を理解する<br>▷ビジネスモデルの骨格である顧客課題と提供価値の関係を理解する | 酒田市産業振興まちづくりセンター | 河村教授                   |
| 7   | 2024/8/30  | 金  | 13:00 | 17:00 | 4:00 |   | ▷地域活性事例  | ▷有識者から、庄内地域及び他地域で地域活性についての事例や実践法を学ぶ  | 酒田市産業振興まちづくりセンター | 河村教授<br>ゲスト            |
| 8   | 2024/9/6   | 金  | 13:00 | 17:00 | 4:00 |   | ▷ビジネスモデルキャンパス（BMC）と顧客価値連鎖分析（CVCA）の知識と演習  | ▷ビジネスモデルの設計図であるBMC・CVCAの内容と作成方法を理解する   | 酒田市産業振興まちづくりセンター | 河村教授<br>（オンライン）        |
| 9   | 2024/10/11 | 金  | 13:00 | 17:00 | 4:00 |   | ▷BMCの発表・ディスカッション<br>▷ビジネスモデルと外部環境（市場・社会等）                                      | ▷各自の発表を共有し、また市場や社会経済等の外部環境と関係を意識し、BMCの理解を深める、かつ自己のビジネスモデル仮説を見つめ直す機会を得る   | 酒田市産業振興まちづくりセンター | 河村教授                   |
| 10  | 2024/10/25 | 金  | 13:00 | 17:00 | 4:00 |   | ▷事業コンセプト、物語りづくりの知識<br>▷事業構想案作成の知識  | ▷事業構想案作成に必要な要素・知識を学ぶ   | 酒田市産業振興まちづくりセンター | 河村教授<br>（オンライン）        |
| 11  | 2024/11/15 | 金  | 13:00 | 17:00 | 4:00 |   | ▷各自の中間発表内容を討議  | ▷多様な視点からディスカッションを行い、構想計画策定に向けたヒット・ブラッシュアップを図る  | 酒田市産業振興まちづくりセンター | 河村教授<br>（オンライン）        |
| 12  | 2024/11/22 | 金  | 13:00 | 17:00 | 4:00 |   | ▷各研究員の事業構想案の中間発表・ディスカッション・講評   | ▷各研究員の構想案の共有と意見交換等により、自己の構想を見つめ直す機会とする   | 酒田市産業振興まちづくりセンター | 河村教授                   |
| 13  | 2024/12/6  | 金  | 13:00 | 17:00 | 4:00 |   | ▷中間発表振り返り  | ▷各自の中間発表を踏まえ、多様な視点からディスカッションを行い、構想計画策定に向けたヒット・ブラッシュアップを図る  | 酒田市産業振興まちづくりセンター | 河村教授                   |
| 14  | 2024/12/18 | 水  | 13:00 | 17:00 | 4:00 | 【第3クール】<br>構想計画に必要な<br>知識と実践法           | ▷マーケティング   | ▷各自の事業構想計画に資する専門的な知識・事例等を学ぶ（市場の捉え方、デジタルマーケティング）  | 酒田市産業振興まちづくりセンター | 原尻客員教授                 |
| 15  | 2025/1/13  | 月  | 13:00 | 17:00 | 4:00 |   | ▷事業構想計画の作成についての知識<br>▷マネタイズ、収支計画など   | ▷最終発表に向け、事業構想計画の基本要素を知る<br>▷構想計画に最低限必要な会計知識を得る   | 酒田市産業振興まちづくりセンター | 河村教授                   |
| 16  | 2025/1/31  | 金  | 13:00 | 17:00 | 4:00 | 【第4クール】<br>事業構想計画<br>策定・発表              | ▷公民共創・地域活性等の事例と理論  | 最終発表に向け、事業構想のブラッシュアップに必要な知識を学ぶ   | 酒田市産業振興まちづくりセンター | 河村教授<br>ゲスト<br>（オンライン） |
| 17  | 2025/2/7   | 金  | 13:00 | 17:00 | 4:00 |   | ▷事業構想計画発表・ディスカッション   | ▷多様な視点からディスカッションを行い、構想計画発表に向けたヒット・ブラッシュアップを図る  | 酒田市産業振興まちづくりセンター | 河村教授<br>（オンライン）        |
| 18  | 2025/2/28  | 金  | 13:00 | 17:00 | 4:00 |   | ▷事業構想計画発表・ディスカッション   | ▷多様な視点からディスカッションを行い、構想計画発表に向けたヒット・ブラッシュアップを図る  | 酒田市産業振興まちづくりセンター | 河村教授                   |
| 19  | 2025/3/7   | 金  | 13:00 | 17:00 | 4:00 |   | ▷事業構想計画について教員個別相談  | ▷最終発表に向け、各研究員と順番に個別相談を行う   | 酒田市産業振興まちづくりセンター | 河村教授<br>（オンライン）        |
| 20  | 2025/3/28  | 金  | 10:00 | 17:00 | 7:00 |   | ▷最終発表  | ▷酒田市における地域課題解決に資する理想的・具体的な事業構想計画を完成させることにより、この地域に今後を担う意識を持つ<br>▷事業構想についてのプレゼンテーションスキルを磨く<br>▷多様な視点からの講評を受けることで、自己の視野を広げる       | 酒田市産業振興まちづくりセンター | 河村教授                   |

合計時間 83:00

## 【備考 / 補足事項】

- ① 講義時間：13:00～17:00
- ② 事業構想大学院の教授が1名専任担当教員として全体の指導・ファシリテート
- ③ 各研究員の事業構想の内容・進捗に応じ、ゲスト講師（本学・他大学教員、民間企業、公務員、その他専門家等）を招聘
- ④ 担当教員が、研究員の状況・希望に応じ、適宜個別指導に対応
- ⑤ 本カリキュラムの他、研究員は、事業構想大学院の授業の一つ「事業構想スピーチ（年間40回）※」を、本プロジェクト期間内に聴講可能  
※ 各界を代表するキーパーソンをゲストスピーカーとして招聘し、先端ビジネスモデル・社会的事業モデル等の実践事例やノウハウ等を学ぶことでヒントを得、自己の事業構想に役立てる講義
- ⑥ 講義以外の時間は各自「仕事・観光等・フィールドリサーチ・議論」などを実施
- ⑦ 各回で、構想の進捗に応じた「課題（ホームワーク）」を課すことがある
- ⑧ 本カリキュラムは現状案であり、各研究員の構想テーマや進捗等に応じ、担当教員の判断で講義内容や順序等の変更を行う場合があります。

# 事業構想スピーチ

毎週、水曜日の19時から21時に2時間のスピーチを実施



## 年間40回 各回2時間

各界を代表するキーパーソンから最先端ビジネスモデル・社会モデルを学び「発・着・想」を得て、自身の構想に役立てる。

革新経営者

創業経営者

新規事業責任者

地域活性・実践者

先端企業経営者

先端分野研究者

社会起業家

ブランドマネージャー

クリエイター

都市計画専門家

建築家

ITビジネスリーダー

## 過去の登壇例

※順不同、肩書は取材・登壇当時のもの、写真は一例です。



これまで累計200名以上が登壇。多彩なゲスト教員からヒントを得る。

# 事業構想研究所の研究員

事業構想大学院大学事業構想研究所のプロジェクト研究員の立場が付与されます



研究員証



名刺



個別相談



共同研究会への参加 年6回



データベースの活用



学内環境・サロンの活用



研究修了証



アルムナイネットワーク

- ・履歴書に研究員の経歴が記載可能。
- ・また、プロジェクト終了後には、研究報告書作成など規定要件を満たせば研究修了証を授与。
- ・一部コンテンツのアーカイブ視聴
- ・希望により学会発表や、メディア掲載の申請が可能。
- ・共同研究会とは：研究会の枠を超えて他社・他研究会と意見交換を行い共創。担当教員以外の教員や他県の研究員から構想へのフィードバックを得る。

## 個人情報の取り扱いについて

本大学院が出願書類を通じて取得する個人情報は、①研究員選考、②合格者発表、③参加手続き、④選考方法等における調査・研究、⑤本大学院からのお知らせ、⑥これらに付随する業務を行うために、事務局、担当教授が利用します。

### 申込・問い合わせ先

学校法人先端教育機構  
事業構想大学院大学 事業構想研究所  
担当：仙台校 木村 大泉  
〒983-8477  
宮城県仙台市宮城野区榴岡1-1-1  
JR仙台イーストゲートビル7階  
Tel: 022-257-8411  
E-mail: sendai@mpd.ac.jp



学校法人 先端教育機構  
Advanced Academic Agency



学校法人 先端教育機構

事業構想大学院大学 事業構想研究所